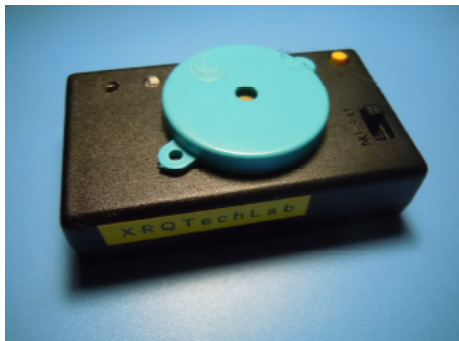


CPR指導・タイミング送出装置 (P to P) 取扱説明書

corresponded Guideline 2015

Ver.3.0



胸骨圧迫心肺蘇生法の指導で110回/分のタイミングを光と音で表示する装置です。

スイッチを入れると、赤と緑のLedが点滅し、ピピピという音によって機能の確認を行います。

特にこのバージョンでは耳の不自由な方を対象に、光での表示を優先しています。1分間に110回程度、赤のLedが点灯しタイミングを表示します。音

が必要な場合は右上の押しボタンを押すごとに、on/offの切り替えができます。

赤のLed表示30回ごとに緑のLedが早い点滅を行います。これは胸骨圧迫30回ごとに2回の呼気吹き込みということをイメージしています。実際の指導では「この緑の点滅が2回あったら、次の人の交代する」などと訓練者の交代指示に使うことができます。

緑のLedの輝きが暗くなってきたときには、乾電池が消耗してきていますので、電池の交換をしてください。裏蓋の▽の位置を押すようにして手前に滑らせると蓋が開きます。使用電池は単4電池2本です。

この装置には2つのモードが入っています。

Program:PtoP009.c

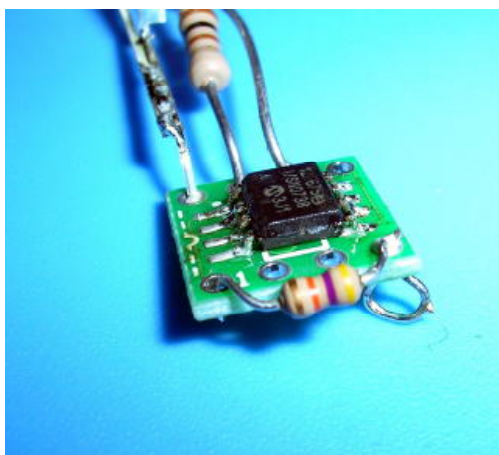
Aモード: 初期設定で上記の動作をします。(下記の切り替え操作をしなければ、このモードで起動します)

Bモード: 上級者モードとでも言いましょうか、実際に呼気の吹き込みを行う場合、その動作を行うのに、実測で約胸骨圧迫13回分の時間がかかります。そこで、43回ごとに緑の点滅を入れたモードです。緑の点滅を確認し、呼吸動作をし、胸骨圧迫を再開しても30回のCPRができるようにしたモードです。

モードの確認方法

Aモードで動作するときには、電源投入後、赤緑が高速で交互に点滅した後、1秒間赤緑とも点灯します。

Bモードの動作では、電源投入後、赤緑が高速で交互に点滅した後、0.3秒の赤緑点灯を3回繰り返します



モードの切り替え方法

写真のような基板の丸い輪の部分(4ピン)をGND(8ピン)と接続したままで電源を入れるとモードが切り替わります。

A<=>B

起動したら、この接続は外します。

起動したモードは記憶されますので、次回からはここで指定したモードで動作します。

不明な点がありましたら"XRQ 技研"で検索してお問い合わせください。